

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	HEROO北吉津		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 5日		～ 2025年 2月 26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16名	(回答者数) 12名
○従業者評価実施期間	2025年 2月 5日		～ 2025年 2月 26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 26日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	5領域を包括した、様々な体験を積める活動を日替わりで提供している。	全国津々浦々の取り組みや、外国遊び、季節の遊び、昔遊びなど、多くの体験を積めるよう思考を凝らしている。	継続して取り組めるような内容も計画していく。
2	障害種別、学校種別、年齢などで条件を設けず、全般的に支援をしている。	遠方まで送迎に出ている。(※今後追加させる方は、現状の利用者を含めて対応が可能か検討が必要) 様々な状態の子と一緒に過ごしており、情緒的な交流も生まれている。	情緒交流を出来るだけ促進出来るようにしていく。
3	地域の方やなどと交流を図っている。	地域行事に参加したり、併設事業所の高齢者との交流、グループ内の放課後デイとの合同イベントなど、色々な方と関わる機会を設けている。	施設に閉じこもらず、地域と交流できる放デイを目指す。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	集団療育がメインで、個別的な課題に取り組むことが十分できていない。	送迎が遠方まであり職員が複数出払い、ゆっくりと関わる時間が持たにくい為。 学区指定なく送迎をお受けしているが、この「断らない支援」という方針とのバランスに苦慮している。	職員の充実。業務改善を図り、時間の工夫を行う。
2	家族支援の面で、交流会、家族会、勉強会などの規格が出来ていない。	職員数が少なく、現状の支援で精一杯の状態の為。	職員の充実。人員が少なくとも出来るような工夫を検討する。
3	様々な状態の利用者が一緒に過ごしているが、自立レベルや関わり方のニーズにギャップが大きく、特にゆっくり、たっぷり関わりが必要な方への支援の余裕が少なく、落ち着いて関わりにくい。	職員人数に余裕がなく、個別対応のニーズにこたえにくい為。 障害種別や学校種別で指定なく支援をお受けしているが、この「断らない支援」という方針とのバランスに苦慮している。	職員の充実。人員の動きを工夫して、少ない人数の中でひとり一人が満足できる内容を考えていく。